

# 經濟觀光部

## (1) 経済観光部予算のポイント

### ◆予算編成にあたっての背景・課題

○直近の国の景気動向は、内閣府『月例経済報告(2018年4月)』によると、「景気は、緩やかに回復している。」「先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」とされています。

また、同じく内閣府の『地域経済動向(2018年2月)』では、南関東地域について「個人消費は持ち直しの動きがみられる。」「雇用情勢は着実に改善している。」等の報告がされています。

○市を取り巻く社会経済状況を見てみると、長年「商都・町田」と呼ばれ、小売業を始めとする商業の集積を中心に発展を遂げてきましたが、近年は近隣自治体との競争激化等の要因から、強みと見られていた商業にかげりが見え始めており、さらには、人口減少による消費市場の縮小も推測されます。

○中心市街地では、商業活性化の指標のひとつである小売業の年間販売額が年々減少しています。

しかしながら、小田急小田原線、JR横浜線ともに、町田駅の乗降客数は微増しており、現在も多くの方が中心市街地を訪れています。2018年3月には、小田急小田原線の複々線化に伴うダイヤ改正が行われ、特に朝の通勤時間帯において、都心までの所要時間が大幅に短縮されました。

競合都市に比べて優位性のあるこれらの点を活かし、将来も選ばれ続ける中心市街地であることが求められています。

○北部丘陵では、農業者の高齢化や後継者不足により、農地や山林を保全する担い手が不足しています。そのため、耕作できない農地や手入れの行き届かない山林が増加し、長年に渡って引き継がれてきた里山環境が損なわれています。

里山環境を保全する新たな担い手を発掘することや、山林の保全を促進する持続可能な仕組みが求められています。

### ◆予算編成の考え方

○「町田市5か年計画17-21」に基づき、以下に掲げる政策を重点的に推進します。

1 中心市街地の公共空間、特に道路空間の利活用を進めるため、エリアマネジメント団体の設立を目指し、原町田大通りを活用した実証実験に取り組みます。また、まちづくりを検討していくための基本的なデータとなる、駅周辺の通行量調査を実施します。

2 市内に残された貴重な農やみどりを将来に引き継ぐための里山環境の保全と活用による活性化を重点的に推進します。

### ◆予算編成で重視した取組

1 中心市街地活性化を推進します。

(1) 道路空間や町田シバヒロなどの公共空間をより一層利活用する取り組み  
(中心市街地活性化事業費 産業政策課 97ページ)

2 北部丘陵の里山環境を回復・保全します。

(1) 北部丘陵を中心とした里山環境の再生・保全を促進する取り組み  
(里山環境保全活用促進費 農業振興課 96ページ)



## (2) 6月補正予算 経済観光部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	補正前の額	補正額	合計	事業名
5	労働費				
	1 労働諸費				
	1 労働諸費	22,100	0	22,100	
6	農林費				
	1 農業費				
	2 農業費	95,175	16,849	112,024	里山環境保全活用促進費
7	商工費				
	1 商工費				
	1 商工業振興費	711,867	8,019	719,886	中心市街地活性化事業費
	2 観光振興費	87,006	0	87,006	
	合計	916,148	24,868	941,016	

※職員人件費は除いています。

経済観光部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
補正前の額	916,148	0	53,512	0	178,472	684,164
補正額	24,868	0	9,579	0	0	15,289
合計	941,016	0	63,091	0	178,472	699,453

## (3) 事業別支出科目一覧

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
6	1	2	農業費		16,849
			06 里山環境保全活用促進費	農業振興課	16,849
			作成委託料		500
			整備工事費		14,731
			備品等購入費		1,491
			土地改良事業団体連合会特別負担金		127
7	1	1	商工業振興費		8,019
			06 中心市街地活性化事業費	産業政策課	8,019
			光熱水費		19
			事業・業務委託料		8,000

## (4) 事業の説明

一般会計		款 6	項 1	目 2	農業費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	16,849	0	7,079	0	0	9,770

### 6 里山環境保全活用促進費 16,849 千円

担当 農業振興課 予算書 18 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	7,079	0	0	9,770

#### ○事業の内容

北部丘陵を中心とする里山が良好に再生・保全されることを目指し、町田市北部丘陵活性化計画に基づいて山林の管理や農地の整備等を行います。

#### ○2018年度6月補正予算における取り組み

山林の適正な管理を促進するため、伐採した竹をチップ化して再利用できるよう、竹粉碎機を導入します。

また、北部丘陵にある遊休農地等について、耕運等の再整備を行い、農地として利用できるようにするほか、鶴見川源流保水の森の展望点を安全に利用できるよう柵の設置を行います。

主な事業費	整備工事費	14,731千円
	（農地環境整備	12,668千円）
	（展望点整備	2,063千円）
	備品等購入費（竹粉碎機購入）	1,491千円

特定財源	土地改良事業費補助金（都1/2）	6,334千円
	環境政策推進区市町村補助金（都1/2）	745千円



再整備を行った北部丘陵の農地

一般会計

		款 7	項 1	目 1	商工業振興費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	8,019	0	2,500	0	0	5,519

拡充 6 中心市街地活性化事業費 8,019 千円

担当 産業政策課 予算書 18 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	2,500	0	0	5,519

○事業の内容

『町田市中心市街地まちづくり計画「“夢”かなうまちへ』』に基づき、中心市街地に新たな賑わいを創出します。具体的には、道路空間や町田シバヒロなどの公共空間をより一層活用する取り組みを行います。

○2018年度6月補正予算における取り組み

原町田大通りを活用した実証実験を行うとともに、中心市街地のまちづくりを検討するための基礎資料となる町田駅周辺の通行量調査を拡充して実施します。

主な事業費

事業・業務委託料	8,000千円
（町田駅周辺通行量調査	5,000千円）
（公共空間利活用社会実験	3,000千円）

特定財源 産業集積活性化事業費補助金（都1/2） 2,500千円



原町田大通り